



平成28年10月27日

各 位

会社名 中央発條株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高江 暁
 (コード番号 5992 東証・名証第1部)
 問合せ先 経理部長 小笠原 喜信
 (TEL 052 - 624 - 8539)

営業外費用（為替差損）の計上ならびに
 平成29年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成28年4月27日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

当社は、平成29年3月期第2四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動による為替差損671百万円を営業外費用に計上いたしました。

これは主に、当社が保有する外貨建資産の期末為替レートによる評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの金額は変動いたします。

2. 業績予想と実績値との差異

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,500	830	740	380	6.06
実績値(B)	39,298	1,170	721	515	8.23
増減額(B-A)	△201	+340	△18	+135	—
増減率(%)	△0.5	+41.1	△2.5	+35.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	41,143	12	△166	△235	△3.75

3. 差異の理由

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高はほぼ予想通りとなりました。利益面では、営業利益はグループをあげて取り組んでまいりました総費用低減活動の成果によって予想を上回る結果となりましたが、経常利益は上記の為替差損が想定以上となったことにより、ほぼ予想通りの結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に当社の繰延税金資産の計上額が増加し法人税等調整額が想定よりも減少したことにより、予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の見通しが不透明であるため、前回公表いたしました予想値から変更しておりません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上